

柑橘12月の管理

伊豆農業研究センターの生態調査によると、柑橘の肥大はほぼ平年並みで推移しています。果実内容については、品種によりますが、糖度が低い傾向にあります。

今月は冷風貯蔵庫の利用申込書を配布しています。近年、木成り甘夏はフケ果が多発する傾向にあり、収量の減少、秀品率の低下が著しくなっています。冷風甘夏の価格は安定しており、木成りより有利な販売が期待できます。L玉以上の甘夏は冷風入庫しましょう。また、ニューサマーの冷風入庫は後期落果や生理的スアがり、鳥獣害の被害の軽減に効果的です。冷風ニューサマーは5kgでの出荷で、市場からも高い評価を受けています。有利販売のために冷風貯蔵庫を有効に活用してください。

柑橘生態(平成29年10月30日現在 伊豆農業研究センター調べ)

表1 果実肥大

年度	ヒュウガナツ			川野ナツダイダイ			太田ポンカン		
	横径 mm	縦径 mm	果形 指数	横径 mm	縦径 mm	果形 指数	横径 mm	縦径 mm	果形 指数
29	61	54.7	111	90.8	72.3	126	62.5	50.3	124
平年	67.5	58.2	116	90.3	71.1	127	63.9	50.9	126
28	67.7	59.0	115	94.2	72.6	130	69.6	57.2	122
27	58.7	50.9	115	91.1	74	123	66.6	52.2	128

年度	不知火			はるみ			青島温州		
	横径 mm	縦径 mm	果形 指数	横径 mm	縦径 mm	果形 指数	横径 mm	縦径 mm	果形 指数
29	81.8	77.6	105	72.1	59	122	75.7	57.4	132
平年	80.0	73.7	109	73.8	59.0	125	73.9	51.7	143
28	84.6	76.1	111	78.3	64.8	121	73.0	51.4	142
27	83.4	77.2	108	74.3	61	122	76	54.4	140

表2 果実品質(平成29年10月31日現在)

年度	青島温州		太田ポンカン		川野ナツ ダイダイ		ヒュウガ ナツ		不知火		はるみ	
	糖度 Brix	酸 %	糖度 Brix	酸 %	糖度 Brix	酸 %	糖度 Brix	酸 %	糖度 Brix	酸 %	糖度 Brix	酸 %
29	9.4	1.65	9.5	2.14	8.7	3.05	8.5	4.02	8.5	2.14	10.1	1.77
平年	9.0	1.40	9.6	2.23	8.5	3.07	8.7	3.63	9.5	2.19	10.4	1.99
28	8.3	1.17	9.2	1.71	8.3	2.78	8.6	3.68	8.7	1.80	9.8	1.93
27	9.9	1.22	10.2	1.6	8.6	2.79	8.9	3.4	9.9	2.2	10.5	1.81

★収穫

今年度は着色遅れが目立ちますが、減酸は進んでいます。収穫が遅れると浮き皮果の発生や過熟による貯蔵中の腐敗果の発生が多くなります。収穫適期を見極め、果実内容や着色の進んだものは、早急に収穫を行ってください。

青島温州

表年の樹、表面なりの有葉花や糖度が高い園地は浮き皮果となりやすいので7分着色以上になった果実から区分採取を行ってください。

ポンカン

分析を行い、酸1.0%以下(指定の収穫日)を目安に着色の良いものから収穫してください。収穫の際は、丁寧に2度切りを行い、高い所から落としたりして果実を傷つけないよう注意してください。収穫前の暖かい雨や寒波の襲来は果皮障害の発生が助長されます。気象状況に注意しながら年内には収穫を終わらせてください。

★予措

果実の呼吸を抑制し、貯蔵力の増加や腐敗果の減少、果実内容の向上などを目的に予措を行います。予措はコンテナに果実を7分目ほど入れ、風通しの良い日陰(湿度条件70~80%)において、1~2週間かけて行います。表3を参考に浮き皮の程度や品種により予措の程度(減量歩合)を調整してください。着色の程度、果実の大きさが揃っていると均一に予措を行うことができます。

表3 予措の程度

品 種	種 類	予措の程度
温 州	通常果	3%
	浮き皮(軽)	4%
	浮き皮(中)	5%
ポンカン	太田ポンカン	3%
	吉田ポンカン	5%
伊 予 柑	宮内・普通伊予柑	5%

★貯蔵

貯蔵にあたっては必ず温湿度計を設置し、庫内の温度、湿度を把握してください。温州、ポンカンでは温度4~6℃、湿度85%を目安に管理してください。過湿は予措戻りやスアがり、浮き皮を助長させます。逆に乾燥は萎びに繋がり、どちらも果実の商品価値を低下させるので注意してください。軸太果、厚皮果、大玉果はスアがりしやすいので区分貯蔵してください。

★病虫害防除

マデックEWの総使用回数は、1回となっております。日向夏で後期落果防止及びヘタ落ち防止の効果を期待する場合は2月に散布を行ってください。2回以上使用した場合、農薬の安全使用基準違反となり受取りすることができなくなりますので十分に注意してください。

ベンレート水和剤の登録が変更になり、かんきつでの使用が、収穫前日までで総使用回数2回になりました。安全使用基準を守り、収穫直前に腐敗防止剤の散布を確実に実施してください。

ミカンハダニやカイガラムシ類の防除は、冬期のマシン油が非常に有効です。防除の際は晴天が続く日を選び、葉裏にもかかるように丁寧に散布してください。なお、寒害を受けやすい園地や幼木、樹勢の弱った樹への散布は控えてください。

表4 薬剤防除

時 期	品 種	対象病虫害	薬 剤 名	倍 率	安全使用基準
12月上旬~ 1月	柑橘全般 (温州以外)	貯蔵病害	ベフラン液剤	2,000	収穫前日-2回
			ベンレート水和剤	4,000	収穫前日-2回
12月~2月	甘夏・伊予 柑・ネーブル・はるみ・ 日向夏等	後期落果防止	マデックEW	3,000	着色期~収穫前 収穫20日前-1回
12月下旬~ 1月中旬	柑橘全般	カイガラムシ 類・ハダニ	マシン油乳剤(97%)	60	—

★寒害対策

寒風害の対策として、樹体被覆・防風林の整備等を行って下さい。また、積雪があった場合は、凍結及び枝折れ防止のために速やかに雪を落としてください。

※農薬安全使用基準を厳守し、出荷前に必ず防除履歴を提出しましょう！！